

概要

固定資産税・都市計画税は、下記の算式により算出されるそれぞれの税額の合計額により賦課を行います。

固定資産税額 = 課税標準額 × 1.4% (固定資産税の税率)

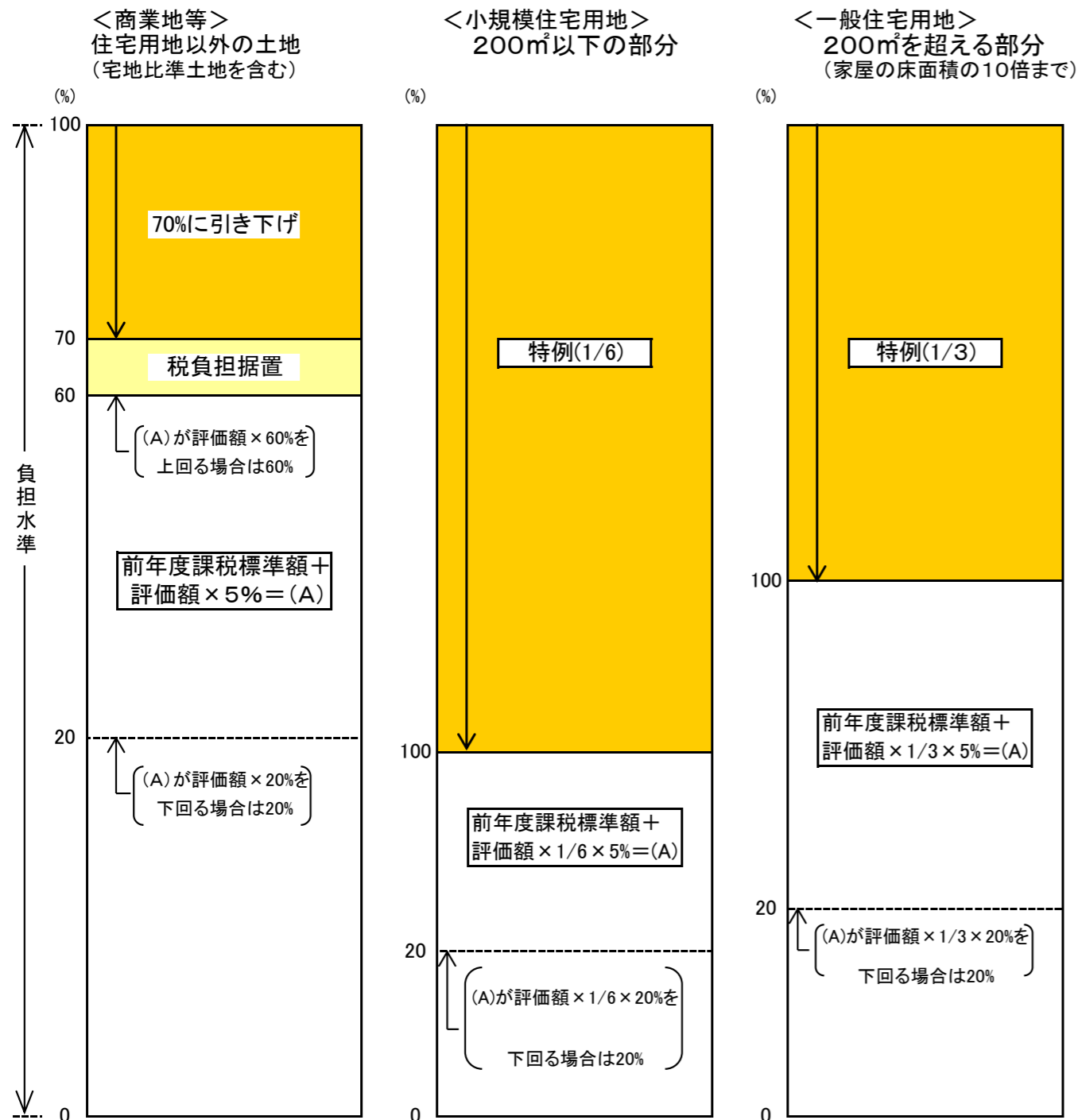
都市計画税額 = 課税標準額 × 0.3% (都市計画税の税率)

※ 住宅用地については課税標準額の特例措置が適用されますが、特例率が異なるため、それぞれの課税標準額が異なります。

固定資産税の特例率……小規模住宅用地は評価額の6分の1、一般住宅用地は評価額の3分の1

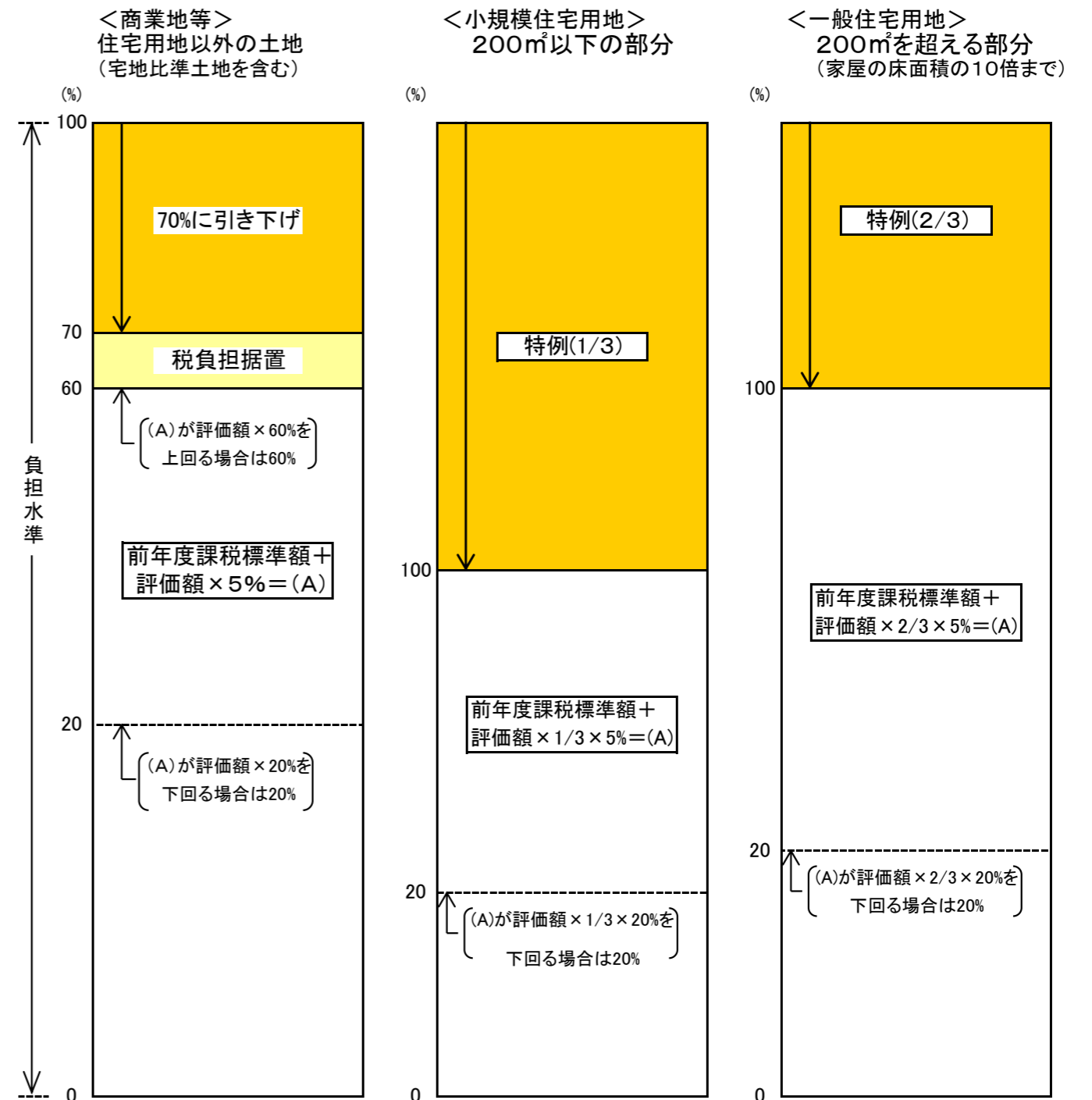
都市計画税の特例率……小規模住宅用地は評価額の3分の1、一般住宅用地は評価額の3分の2

固定資産税(宅地)に係る負担調整措置一覧



※ 負担水準 = 前年度課税標準額 / 新評価額 (× 住宅用特例率)

都市計画税(宅地)に係る負担調整措置一覧



※ 負担水準 = 前年度課税標準額 / 新評価額 (× 住宅用特例率)